

市長 8月から小城市観光協会が休業されている状況。今後については、協会としてしっかり中身を検討し、体制を再構築することなので、小城市としては今現在その状況を注視しているとこ

深川 小城市観光協会が8月から休業となり、事務局が閉鎖されている。観光協会は小城市の観光事業や地域経済の発展に寄与されており、観光施設の整備、観光宣伝などを行ってきた。休業の状況では小城市の観光行政として停滞するのではと心配されるところである。現状と対応の考え方は。



深川 高志

小城市の観光行政の現状とは

市長

小城市観光協会が休業されている状況



▲休業中の小城市観光協会

ろである。観光行政については待ったなしのところがあるので、その辺については市の商工観光課でやるべきことを観光協会と協議して、しっかりやっていく。

深川 担当課のほうで実施できる体制ができるのか。

産業部長 観光協会において再構築が図られるということであり、それまでの間、商工観光課で対応していきたいと考えている。

前田 今年の夏季訓練で熱中症になられた方は何人いたか。

総務部長 熱中症になられた団員が2名いらっしゃったと把握している。

前田 夏季訓練中、なぜ半袖ではなく長袖（活動服）着用を義務付けられる時間があるのか理解できない、常時半袖ではないのか。

総務部長 服装の乱れがないか訓練で点検する必要があるため。今回、訓練終了後は半袖シャツOKのアナウンスを行った。



前田 博己

消防団の負担軽減に対する考えは

総務部長

協議検討が必要



前田 操法大会の練習について、日数と時間に対して市が制限を設定できないか。例えば3日まで一回2時間以内のような。

総務部長 検討していかなければならないと考えている。

前田 消防団の意見を広く聞く環境を整備する必要があるのではないか。

総務部長 アンケートなどを実施して広く団員の意見を聞いていきたい。



▲消防団器具点検

その他の質問

○持続可能な小城市の財政運営について
○教育環境の改善について



谷田 信二

生活保護制度
について市長
生活困窮者の相談体制の充実
を図っていく

谷田 生活保護には4つの原理が定められ、最低限度の生活を保障するとともに、自立の助成を図るとあるが、現状は。

市長 小城市における生活保護受給者数は、コロナ禍や物価高騰の影響が依然として残っており、近年は微増の傾向にある。

福祉部長 令和3年度末と比較すると、8世帯、8名の増加となっている。

谷田 生活保護費の国と地方の負担割合は。

福祉部長 国が4分の3、地方が4分の1となる。

谷田 新規設置と受付状況は。

建設部長 令和5年度の設置状況は、126基となる。

谷田 11人槽以上の受益者分担金は。

建設部長 11人槽から50人槽までは事業費の40%。



▲市営浄化槽区域の久米・本告地域

谷田 三日月町久米、本告地区203号線の沿線の放流先の状況は。

建設部長 基本的には、既存で使用されていた排水先を利用する場合が多く見受けられる。

松並 小中学生の暑さによる体調不良の件数と対策は。

学校教育担当部長 今年4月から7月まで、小学生61件、中学生87件である。危機管理マニュアル等に沿って各学校は対応している。

松並 学校施設の長寿化の今後のスケジュールは。

教育部長 公共施設維持管理計画の個別計画を見直し、整備計画を入れる。今後約10年間の概算整備費なども記載し、今年12月に公表する予定である。



松並 陽一

小中学生の安全を
どう担保するか教育長
学校と情報共有し、施設整備
等を充実させる

松並 小中学校の体育館への空調整備の検討は。

教育部長 それぞれの学校で改修工事をするときに、設置すべきかどうか検討する。避難所になる可能性が高い学校に優先して設置すべきではあるが、全学校の子どもたちの平等性も考えなければいけない。

松並 避難所として使われたことがある牛津体育センターへの空調設備の設置は。



▲長寿化が必要な市内の学校



藤田 直子

ベース小城の 運営状況は

市長

運営団体との協議や助言等も
行い、好転するよう支援する



藤田 ベース小城へは、
国庫補助金4,600万
円が投入されているが小
城市からの補助金は。

建設部長 平成31年に
500万円、令和2年度
に147万円のまちなか
再生事業支援補助金、中
心市街地活性化推進事業
補助金として42万円を補
助し、このうち2分の1
の21万円は県が支出した。

藤田 当事業の経済産業
省への支援計画書に、市
長はどう述べられている
のか。

建設部長 その文書は、
保管期限の5年が過ぎて
いるので実際には持ち合

藤田 5年過ぎたから3
月に捨てましたと解釈し
ていいのか。

建設部長 市が行
う事業ではないので5年経過で廃棄
している。文書全
ての電子化は難し
いと考えている。

藤田 交流人口の
増加が見込まれる
中、商店街の再構
築や地域経済の活
性化につながると
書かれているが、



▲ベース小城の外観

具体策や根拠は。

建設部長 現在は国内観
光客やインバウンド旅行
者の需要が見込めるので
は。新たな産業と雇用も
生み出すために、民間主
導の事業展開により、状
況は好転すると思われる。



片渕 勝也

ムツゴロウ王国の 看板について

産業 部長

看板の設置について考慮し研
究する



片渕 芦刈町にあったム
ツゴロウ王国の看板を、
老朽化のために倒された
ことは理解しているが、
芦刈町のシンボルとして
新たに設置すべきと考え
があるが市の考えは。

産業部長 設置した昭和
63年と現在を比べると、

芦刈町の道路事情も変
わって交通量も変化して
いる。今後の設置は、小
城市4町それぞれの特色
のある看板をつくるの
か、研究もするが、今は
はっきりとした答えはで
きない。

市長 まちづくり計画を

どうやって再構築してい
くか、どういうシンボル
を持つてくるか、今後の
小城市の特に南部は、過
疎地域になつていて
で、解消するための大き
な計画づくりになる。計
画の中に盛り込んでいく
必要がある。



▲芦刈町にあったムツゴロウ王国の看板



西 正博

人口減少と今後の 小城市の課題は



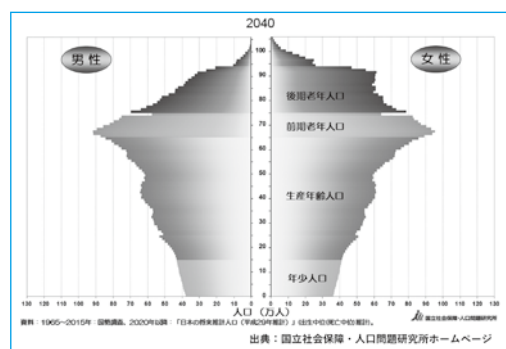
市長

人口減少は行政運営に影響する、回避すべき

西 人口減少の中、行政サービスをどのように維持するのか、今後の課題など市長の考えを尋ねる。また、国が6月に成立した改正地方自治法で創設された指定地域公共団体（共同団体）制度の利点や欠点などは、さらに小城市として将来の税収も減るだろうと想定される対策にどのように活用していく考えかを尋ねる。

市長 令和2年の国勢調査では、前回平成27年の人口と比較すれば307人0.7%減少している。県全体の2.6%減少と比べれば減少率は低い状況だ。昨年12月国立社会

保障・人口問題研究所が発表した地域別将来人口推計によると小城市の2040年推計人口は、13.8%約6,000人の減少との報告だ。人口減少により、税収、公共交通、学校、医療機関や地域コミュニティなどに多大な影響が発生すると想像される。対策としては、移住定住施策や子育てしやすい環境の充実を図る。行政サービスの維持は、効率的な提供、組織体制の見直しも必要と考える。



▲2040年の人口ピラミッド (推計)

総務部長 共同団体制度には情報を収集し、庁内にて制度の活用や契約の課題や条例制度等の研究を進めていきたい。

※8月号の一般質問の数字の訂正
(誤) 約1,300百万人
(正) 約1,300万人

赤松 観光協会を将来どうするの、どのような組織として小城市が考えているか。

産業部長 地域資源を持っている小城市には必要な団体。小城市が他市町、他県に対するPRも必要なので、観光協会があつていただきたい。

赤松 2024年3月31日現在の小城市商工会が出されている「RESAS」を活用した小城市の経済動向分析マップでは、1位に卸売産業・小売業が28.3%。観光行政自体で儲かるのが難しくとも、生業とするの方々がバックアップするのが行

市長 市としてもしっかり支援、応援をしていきたい。思いはあるが、これまでに至った経緯、経過、どういう風に再構築するのか、観光協会としっかり話をする必要がある。また受託事業をされているながら、そこ



赤松 貴子

観光協会の 在り方は



産業部長

観光協会は小城市に必要な団体

政の役割では。どこがい悪いではなく、市民や子どもたちの想いや願いを建設的に少しでも早く着地点を考えるべきと思うが、観光行政に一般財源を充てる考えがあるか。

で運営する事業があった。その受託事業を辞めておられるので、事業費を市がそのまま出すという話にはならない。

市長 市としてもしっかり支援、応援をしていきたい。思いはあるが、これまでに至った経緯、経過、どう

市長 市としてもしっかり支援、応援をしていきたい。思いはあるが、これまでに至った経緯、経過、どう



▲8月から臨時休業中の看板が下がる小城市観光協会

市丸 今回上程された議案第59号、晴田幼稚園の閉園について、まず閉園に至った経緯を質問する。

教育長 晴田幼稚園については、子どもの人口の減少、保育ニーズの増加によって入園する園児が年々減少している。令和6年度、今年度4月の園児数は17人、クラスも3・4歳児を合同クラスとしたことによって3クラスから2クラスになって、集団生活を通しての幼児教育が困難になってきている状況が想定される。今後においても園児の増加が見込めないことから、現在の3歳児の卒園をもって閉園の方針と



▲閉園予定の晴田幼稚園

教育長 保育所等の施設状況を鑑みて、現在のと

市丸 晴田幼稚園を民営化して存続することはできないのか。

した。

市丸 典夫

晴田幼稚園の
閉園について

教育長
方針

3歳児の卒園をもって閉園の



ころ民営化するというこ
とはなく、閉園の方向
で小城市全体のバランス
を考えていきたい。

愛煙家への施策は

市丸 健康増進法は望ま
ない受動喫煙が生じない
ようにするのが目的であ
り、決して禁煙法ではな
い。

市長 お互いの立場を尊
重し、喫煙者への配慮も
必要である。



諸泉 定次

ひきこもり防止へ
eスポーツの導入は

市長

eスポーツはサロン事業の向
上にもなる



諸泉 高齢者のひきこも
り防止に有効なゲーム感
覚で行うeスポーツにつ
いて大町町に現状と現場
見学を行った。

ている。
小城市での導入検討は
どうか。

福祉部長 eスポーツは
大変興味深い内容。他市
町の実施状況を聞き、e
スポーツも含めサロン事
業の成果向上に努めたい。



▲eスポーツで楽しむ高齢者の皆さん

諸泉 来年7月開院の新
公立病院への直通バスの
運行はできないか。

市長 市民病院を利用さ
れている患者さんへ利便
性の高い公共交通提供が
課題。3点ほど検討して
おり、固まれば報告した
い。

その他の質問

○岩松支館のあり方など



松尾 義幸

牛津駅周辺に 駐車場の整備を

市長

駅駐車場の必要性は、十分認識している



松尾 令和5年度の市長と語る会での牛津駅に駐車場の要望、意見が多く出された。この1年間で、牛津駅周辺駐車場についてどう対応し、検討されたか。

市長 送迎時の一時的な駐車場については、ロータリーの動線を延長したことで、より解消すると考えている。長時間利用される駅利用者の駐車場の件は、重要な問題。駅駐車場の必要性は十分認識している。警察、関係者等と協議してきたが、交通安全上、駅前広場内の駐車場確保は難しい。

松尾 佐賀新聞8月13日付ひろば読者の声に「牛津駅のピアノ」が投稿され、今年春、牛津駅周辺

工事により駐車場がなくなり、気軽に牛津駅のピアノが楽しめない。せめて駅敷地内常設の有料駐車場があればよいのだがと結んであった。この投稿に小城市としてどう応えていくのか。



▲駅利用者の駐車場がなくなった牛津駅

建設部長 その佐賀新聞は私も見た。市長の答弁の繰り返しになるが、JRとの協議も必要であるし、周辺の市有地、もしくは有料の月決め駐車場もあり、引き続き検討していきたい。

満岡 危険な空き家を増やさないための早い段階での対策は。

建設部長 空き家等の発生予防、空き家等の適切な管理の推進、空き家等の利活用、管理不全化した空き家等への対策が必要で、具体的には、所有者等の相談対応、セミナーや出前講座など啓発活動、利活用の誘導支援及び補助金等の活用促進、除却や管理不全、特定空き家の措置など。

満岡 空き家を解体し更地にしても住宅用地特例を残し、約6倍になる固定資産税を減免するような措置は。



満岡 利宏

小城市の 空き家対策は

市長

適切な管理の確保や除去等の促進に取り組む



建設部長 他市町の状況を見ながら検討はするが、住んでいることを前提としてつくられた減免制度は、空き家にはなじまないと思っている。

満岡 空き家の解体・リフォーム・家財道具整理費用等補助金の申請条件緩和や増額は。

建設部長 危険空き家等除却補助金・空き家改修費補助金等があるが、限りある予算ではかの財源等の問題もあるので、制度の拡充は難しいと考えている。



▲市内あちこちにある管理不全空き家の予備軍



泉 万里江

牛津駅周辺事業の 今後は

市長 利便性向上に繋がるよう中長
期的に考えていく



泉 牛津駅周辺を今後
どのようにしていきたい
と考えているか。

市長 子育て・子育てを
支える交流と活動の拠点
づくりを達成するため
に、交通機能の充実や、
にぎわいを誘導する広場
として整備した。まだ課
題も残されているので中
長期的に今後も対応して
いきたいと考える。

泉 牛津駅北側の整備
が完成して半年ほど経
つ。送迎時に一時的に駐
車のできるスペースはあ
るが、通勤通学や雨天時
などの送迎時はロータ
リーをはみ出して駐車し
ている状況もある。また

駐車場がなくなつて不便
になったという市民の声
があることに對してどう
考えるか。

建設部長 ロータリーは
以前より延伸したが、送
迎時の混雑解消について
協議し検討している。駐
車場は市の土地を有効に
活用できないかなど随時
検討している。

泉 市民から跨線橋に
屋根があればという意見
や、牛津駅南側に入入り
口をとという要望につい
て、どのような検討がな
されているのか。

建設部長 跨線橋の整備
はJR九州と継続して協
働している。



▲北側の整備が行われたJR牛津駅

議を行っている。牛津駅
南側の出入口についても
JR九州と協議を続けて
いる。

その他の質問

○災害後の生活支援制
度の市民への周知に
ついて。
○自主防災組織につい
て。



江島佐知子

福祉向上には自主 財源確保が重要

市長 ネーミングライツ等新たな取
り組みも努力する



江島 ①ふるさと納税の現状と
課題。

②定住促進対策の効果と
展望

③産業振興と企業誘致の
取り組みと展望。

④交流人口の増加への取
り組みと課題。

⑤自主財源の確保に向け
た新たな取り組み。

総務部長 ①募集基準が
厳格化され厳しい現状だ
が、委託業者との協働体
制が強化された。PRに
力を入れ11億円を超える
よう努力する。

建設部長 ②都市部での
移住相談会に参加、また
NPO法人と協定し空き

家活用等伴走型で支援し
移住定住の増加に繋げる。

産業部長 ③国や県の補
助事業を有効に活用しな
がら産業振興に取り組ん
でいる。農業に関しては
農業経営の安定化、品質
の向上、新規就農者支援
等。水産業に関して
はノリ養殖場の環境
改善等。商工業につ
いては金融機関や商
工会議所、商工会と
連携、ふるさと納税
での売り上げ増にも
寄与している。企業
誘致について、県の
首都圏事務所や関西
中京事務所とも情報
交換していく。④観
光協会が休業中、再

市長 ⑤ネーミングライ
ツの拡大や新規優良広
告、クラウドファンディ
ング等勉強しながら努力
していく。



▲ネーミングライツを活用している施設



▲閉園予定の晴田幼稚園

中尾 区長とは小城市行政で、どのような位置づけで役割をお願いしているのか。

市長 小城市内の各行政区より区長として推薦をお願いし、小城市報の配布や市からの伝達事項を市民へ伝える業務、逆に市民の声を市へ伝達していただくなど市役所と市



中尾 勝吉

行政と区長の関わりについて

市長

市役所と市民を結ぶ大事な役割を担っている



晴田幼稚園の閉園について

中尾 晴田幼稚園の閉園についての方針と教育長の見解は。

教育長 近年では幼児教育、保育の在り方が劇的に変化している。今まで幾度となく小城市立幼稚園、保育園の再編計画が再検討され、見直されて

きた。近年は、保育園入園希望者の増加により晴田幼稚園では在園児が令和6年4月現在17名、クラス数も3クラスから2クラスへ減少し、集団生活を通した幼児教育が非常に難しくなり、今後とも園児の増加が見込めない状況にあり、今の在園児3歳児をもって閉園の方針とした。見解としては、園児数の減少により集団生活や園児同士の交流が十分にできず集团的なものが難しくなっている。また、保育士の確保が厳しい状況。そして、保育ニーズが優先され、幼稚園の定数に余剰が増えてきたため閉園について苦渋の判断をした。



中島 正樹

令和7年度の予算編成方針は

市長

計画的な編成を行っていく



中島 財政計画の考え方は。

市長 令和6年度予算編成は大変厳しい編成となった。歳入の抑制に努めるとともに、歳入については特定財源の確保だけでなく、自主財源の確保にも努力を行い、ふるさと応援寄附金や財政調整基金等の基金からの繰り入れに頼らない、歳入に見合う規模の歳出に努めていく必要があると考える。

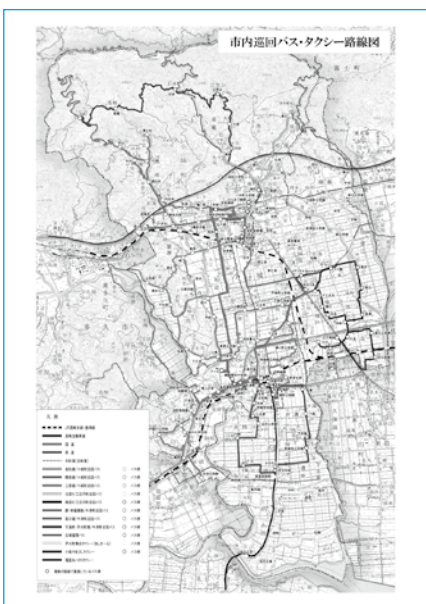
中島 令和7年度の予算編成方針と改革案はあるか。

総務部長 本年度は補助金の一律10%カットも行った。そのことについても今年度の進捗状況、利用状況等も確認し検討をしていく。更に、地方財政計画に基づきながら、また、財源の状況も確認しながら予算編成を行う。

中島 公共交通の現状と課題、今後の対策は。

建設部長 課題は多くあると認識している。

市長 市として多様な、多角的な視点で活用方法をしっかりと協議をしていく。



▲市内巡回バス・タクシー路線図